企画総務グループ幹事会（2023 年度　第 2 回）議事録

日　　時：	2023 年 9 月 13 日（水）15：00～17：00			
場　　所：	JGS 会館 ＋ 電子会議（Zoom ミーティング）			
出 席 者：JGS 会館	桑野幹事長	立石副幹事長	金田副幹事長	青木事務局員
ZOOM	川野幹事	崔幹事	河田幹事	末武幹事
欠席者　：	中島幹事	瀬谷幹事		

１．前回議事録の確認

・2023 年度第 1 回企画総務グループ幹事会議事録（6/16）　【別紙－ 1】

→確認していただくことにした。

・2023 年度第 1 回運営委員会議事録（7/18）　【別紙－ 2】

→確認していただくことにした。

２．最近のスケジュール

・2023 年度第 2 回運営委員会：2023 年 9 月 29 日（金）13：00-15：00　JGS 会館+ZOOM

・2023 年度第 1 回商議委員会：2023 年 10 月 20 日（金）対面開催 JGS 会館

・特別講演会「ゼネコン、研究所、鉄道事業者を経験したトンネル技術者が地盤工学に期待する事」講師：小西 真治 氏（(株)アサノ大成基礎エンジニアリング 理事）　【別紙－ 3】

→商議委員会は対面となり、特別講演会はハイブリッド（ウエビナー）で実施する。講演会準備のため、30 分の間をあけることとした。特別講演会は商議員の方には連絡するが、会場にご招待する方は、法人の特級会員、1 級、2 級会員の最大 1 名とし、オンラインは 3 級、4 級と正会員にご案内することとする。懇親会は開催しないとのこと。CPD 付与行事となるため参加者でアンケートに回答してくれた方に付与とする。特別講習会の紹介は幹事長、司会は立石副幹事長にお願いする。

・第 20 回地盤工学会関東支部発表会 GeoKanto2023：2023 年 11 月 22 日（水）国立オリンピック記念青少年総合センター

３．支部長特命事項対応他、運営管理上の報告・協議

報告

(1)　ニュースレターNo.50（10 月発行予定）…編集担当：川野幹事

(2)　復会のお願い通知の送付報告　【別紙－ 4】

→立石副幹事長から説明があった。

(3)　9/8 締切：2026 年度以降の地盤工学研究発表会,開催地支部順序案について（回答済）　【別紙－ 5】

→立石副幹事長から説明があった。

(4)　インボイス制度に関する説明会について　【別紙－ 6】

→青木事務局員から説明があった。請求書や領収書に地盤工学会のインボイス番号を記載する。10%対象税込計（内税）、消費税（10%）、不課税の場合はその旨記載する必要があるとのこと。

(5)　9/28 東京都立小石川中等教育学校「サイエンスカフェ」　【別紙－ 7】

→金田副幹事長から簡単な説明があった。

(6)　11/24 締切：2023 年度地盤工学会関東支部賞の募集について　【別紙－ 8】

→関係各所に連絡しているが、何かあれば応募していただきたい。

(7)　関東支部 20 周年ロゴ　【別紙－ 9】

→事務局でロゴを持っているので、運営委員会でも説明しますが、各 WG で活動するときにはご活用いただきたい。

(8)　メール審議：

7/20　・共催依頼：11/30-12/1 国際ジオシンセティックス学会(IGS)日本支部「第 38 回ジオシンセティックスシンポジウム」

8/9　・後援依頼：11/15（一財）災害科学研究所「インフラ分野における DX-現在地を探る 2023-」

(9)　2023 年度予算執行状況について（7 月末現在）　【別紙－10】

→青木様から説明があった。8/2 の液状化のシンポジウムの収益があった他、管理費、委員会費の支出のみである。9 月以降に行事が開催されるため、それ以後に収支に動きがある。

検討

(10) 11/2 開催：2023 年度「若手技術者を対象とした意見交換セミナー」 【別紙－11】

→予算がまだ確定していないが、5000 円程度にして、懇親会ではなく意見交換会などにして実施したらどうか。東大の教室で懇親会は実施できるが、鍵を 20 時までに返却する必要がある。清掃を含めて時間の管理をしていただきたい。

(11) 11/22 開催：関東大震災 100 周年シンポジウム(地盤工学会関東支部 20 周年記念行事) 【別紙－12】

→発表申し込みが 138 編。特別講演会はパネルディスカッションで、東畑先生に司会をお願いしたい。別途 HP を作成し、参加人数を把握する。受付を設置して当日来た人には受付を行う。受付にアンケート回答の QR コードを準備して配布する。
懇親会は 80 名が定員。参加人数が少ない場合は依頼する。要旨集には大里氏の写真も使用できるので検討してください。

(12) 12/15 開催：特別講演会 山田前事務次官のご講演について 【別紙－13】

→立石副幹事長から説明があった。対面での参加定員は 60 人とする。特別会員の方も 3 級まで現地開催案内と無料としたい。オンライン参加定員は 300 人。担当は桑野幹事長にお願いする。

(13) 社会的に注目される事変（地盤災害時等）の地盤工学専門家のコメントサイトの開設について
⇒7/18 運営委員会議事録参照

→総務部会に挙げる資料を作る。本部理事の山田様に確認する。この提案に関して災害、広報・災害に関する担当理事にに打診する。青木事務局員が対応。

(14) 10/2 締切：「令和 5 年度 地盤工学会賞」候補募集 【別紙－14】

(15) 10/2 締切：「令和 5 年度 地盤工学貢献賞」募集 【別紙－15】

→推薦を考えている方がいましたら 9 月 15 日までにご連絡ください。

(16) 10/25 締切：「事業企画賞」候補案および審査員選出のお願い 【別紙－16】

→2022 年度の活動の中で推薦をお願いしたい。審査員は川野幹事にお願いする。

4．開催結果、進捗状況の報告

(1) 7/4 後援行事：(一財)災害科学研究所 「地盤調査・探査手法の最前線および地質情報の DX による連携」講演会【開催済】

(2) 7/7 共催行事：(一社) 地域国土強靭化研究所「創設 3 周年記念フォーラム」参加者 83 名【開催済】

(3) 8/2 「液状化に係わる被害のメカニズムと名称を考える委員会」活動成果報告会 Zoom ウエビナーによるオンライン講演会 参加者 99 名【開催済】

(4) 9/28 東京都立小石川中等教育学校「サイエンスカフェ」

(5) 9/28 栃木県グループ「那須野が原現地巡検および勉強会」

(6) 9/29 会員サービスグループ 第 5 回「ジオテク語りべ会」

(7) 10/21 会員サービスグループ「第 16 回ソイルストラクチャーコンテスト」

(8) 11/15 後援行事：(一財) 災害科学研究所「インフラ分野における DX-現在地を探る 2023-」

(9) 11/30-12/1 共催行事：国際ジオシンセティックス学会(IGS)日本支部「第 38 回ジオシンセティックスシンポジウム」

5．その他

(1) 退会届

・なし

(2) 新入会

・大亜ソイル株式会社 4 級

(3) 級変更

・株式会社日水コン 4 級から特級へ変更

(4) 次回打合せ：2023 年 月 日（ ）（前年度は 12 月 1 日の開催）